

性暴力被害は、ひとごとじゃない。回復までの道のりを、自己責任にしない。

#SaveSACHICO

#大阪SACHICOを守る署名

特定非営利活動法人

性暴力救援センター・大阪SACHICOの
存続と体制強化を求める全国署名にご協力を

SAVE

大阪サチコをまもろう！

SACHICO

大阪府で唯一のワンストップ支援センター（SACHICO／サチコ）が存続の危機にあるのをご存知でしょうか？
国や府からの補助金不足、医療体制維持が限界にあるなどの理由から、2025年3月を目処に、拠点である民間病院からの撤退を余儀なくされています。
私たちは大阪府に対し、SACHICOの存続を求める、
請願書提出・署名運動を立ち上げました。

① 紙の署名



または

② 電子署名



(Google フォーム)

✓
署名のタイプは
2種類あります

✓ 提出締切

紙の署名・電子署名ともに
2024年11月30日まで

※紙の署名は11月20日までにお送りください。

※①・②いずれかでの署名をお願いします。重複分は無効となりますのでご注意ください。

呼びかけ

「性暴力救援センター・大阪SACHICO の存続と発展を願う会」

活動趣旨・紙の署名用紙のデータや郵送先など、詳細はこちらの note をご覧ください⇒



*本キャンペーンは市民有志による呼びかけによるものであり、性暴力救援センター・阪 SACHICO とは別団体です。
*ご記入いただいた個人情報は、当団体が大阪府への請願の目的にのみ使用し、第三者に提供することはありません。

note.com/sachico_seigan/

性暴力救援センター・大阪 SACHICO の 存続と体制強化を求める全国署名



【請願趣旨】

性暴力救援センター・大阪 SACHICO は、病院拠点型のワンストップ支援センターとして 2010 年度から 14 年間、阪南中央病院内にて 24 時間体制のもと性暴力被害者の支援を行ってきました。受けてきた電話件数は 52198 件、来所延べ件数は 14610 件、診療及び支援した人の実人数は 3722 人に上り、大阪府下の性暴力被害者支援において中心的な役割を果たしています。

必要不可欠な機関であるにも関わらず、国や大阪府からの補助金は運営費のごく一部で、維持費の多くは阪南中央病院が負担し、足りない分は寄付金で補ってきました。医師・看護師は病院での診療を行いつつ SACHICO での診察にあたっており、善意の超過勤務で成り立ってきましたが、働き方改革もあり、一民間病院が全てを負担することは困難になりました。

このままでは SACHICO は 2025 年 3 月を目処に阪南中央病院から撤退せねばならず、ワンストップ支援センターが大阪府に存在しないことになってしまいます。

また SACHICO では、被害者が安心できるよう支援員が常に寄り添ってサポートすることを大切にしてきましたが、現状では支援員と医療者によるサポート体制を確保し続けることも困難になってきています。

緊急避妊薬の投与、証拠物の採取、医師による外傷の記録など、72 時間以内に診察を行う事は非常に重要であり、セキュリティ面においても、ワンストップ支援センターが病院拠点型であることは必要不可欠な条件です。また、年齢、性別問わず被害者になり得ることから、産婦人科だけでなく、精神科、小児科、外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科等の総合的な診療が可能である病院であることが望ましいといえます。

以上の趣旨から、私たちは次のことを請願します。

【請願項目】

- 2025（令和 7）年 3 月末をもって阪南中央病院から退去を求められている性暴力救援センター・大阪 SACHICO の活動拠点を大阪府の責任において速やかに確保し、運営にかかる費用を保障してください。
- 公的な病院を拠点とするワンストップ支援センターを設置してください。

※ 名前・住所（丁目・番地などを省略せず）を、一人ひとり明記を。「同上」「〃」、鉛筆使用は無効です。

※ この署名の個人情報は、目的以外には使用しません。

名 前	住 所
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県
	都 道 府 県

